

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	稻城市発達支援センター分室 レスポートなぎ大丸
------	-------------------------

公表日 令和8年2月2日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		直接支援に使うものを持っていく支援はあまり行っていないが、支援に必要なものは揃っているため、持ちだすことはすぐにできると思う。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	保育所等訪問支援の利用が必要だと思われる思われる子について全体で共有することはしていないか個別に確認している。 会議等で意見を募る機会を設けている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	3年に1回、第三者評価機関による評価をする予定である。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		法人内や事業所での研修を定期的に実施している。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		対象児が関わっている職員に様子を聞き、訪問時の様子を都度伝達している。	
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問先のニーズを確認した上で作成している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	2	訪問支援員のみで確認し訪問を実施していることが多い。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	稻城市発達支援センター分室 レスポートなぎ大丸
------	-------------------------

公表日 令和8年2月2日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		グループ療育や個別療育担当スタッフと共有している。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		訪問中に記録を取り、施設に戻ってから追記している。	
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	保育所等訪問支援の枠組では今まで関係機関との会議を行っていない。	今後必要に応じて関係機関との会議を検討・実施をしていきます。
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		支援計画を共有することやや就学支援シートの作成を行っている。	
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			
	24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		管理者が参加している。	
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	必要に応じて研修案内を行っている。	
保護者等への説明等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		面談を実施している。	
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	稻城市発達支援センター分室 レスポートなぎ大丸
------	-------------------------

公表日 令和8年2月2日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
保護者等への説明等	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援はできていない。	保護者同士交流する機会はあるがきょうだい同士の交流機会は少ないため、園庭開放ではきょうだい児の参加を可にします。またきょうだい児が参加できる行事を検討します。
	33 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	2	SNSやHPでの発信はできていない。	保育所等訪問支援のサービス内容についてICTツールにて児童発達支援利用の保護者の方に周知していきます。
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	1	毎回カンファレンスか電話にて振り返りを行っている。	
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		個別療育時に面談をし、訪問時の様子を伝えている。	
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	周知しきれていない内容がある。	
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		毎月計画的に実施している。	
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		毎年研修を行っている。	
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			